



## 「まんじーの焼き芋」

ひがし みつじ  
東 満次 さん



いつも笑顔の“まんじー”こと東満次さんは、作物の中でも特に鳴門金時の栽培に強い思いがあります。まんじーの芋を一年中絶やさないように、毎年千本もの芋づるを植えています。貯蔵の仕方にもこだわっていて、自分の背丈よりも深い穴に、芋ともみ殻を交互に敷いて貯蔵するそうです。まんじーの焼き芋は、松原の「やまびこ市場」(4月末～12月末の日曜日)で販売します。毎年秋に幼稚園生を招いて、芋掘り体験をしています。

松原から宇治に抜ける道沿いにあるご自宅には、ツゲの木を剪定した、鳥やウサギやカメの形をした可愛いトピアリーがあります。50年かけて完成した15本のトピアリーは、環境美化に貢献したと、表彰されたこともあります。見る人の心を温かくしてくれる、まんじーさん宅のシンボルです。



地下2mに掘った貯蔵庫。



かわいい動物たちが道沿いに見えます。



まんじーさんはオーダーメイドでお正月飾りを作ったり、あちこちで手品を披露したりしています。そのレパートリーはなんと13種類！